

平成21年度 決算報告書

国立大学法人政策研究大学院大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	2,098	2,114	16	(注1)
施設整備費補助金	526	526	△ 0	
補助金等収入	—	207	207	(注2)
自己収入	278	310	32	
授業料、入学金及び検定料収入	242	245	3	
雑収入	36	65	29	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	124	318	194	(注4)
目的積立金取崩	1,433	1,593	160	(注5)
計	4,459	5,068	609	
支 出				
業務費	1,723	1,404	△ 319	
教育研究経費	1,723	1,404	△ 319	(注6)
一般管理費	1,084	1,004	△ 80	(注7)
施設整備費	1,528	2,047	519	(注8)
補助金等	—	207	207	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	124	245	121	(注10)
計	4,459	4,907	448	
収入－支出	—	161	161	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予定より退職手当における過年度分の運営費交付金債務の収益化が多かったこと等のため、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金事業の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が207百万円多額となっています。
- (注3) 雑収入については、科学研究費補助金の間接経費相当額の受入れの発生等により、予算額に比して決算額が29百万円多額となっています。
- (注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国、独立行政法人等からの受託研究等の獲得及び奨学寄附金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が194百万円多額となっています。
- (注5) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった平成20年度決算剰余金に係る目的積立金を取崩して、教育研究の質の向上のための国際交流施設の整備の実施に努めたため、予算額に比して決算額が160百万円多額となっています。
- (注6) 教育研究経費については、教育研究の質の向上のための国際交流施設整備の充実を図るため、教育研究経費を節減したことに伴い予算額に比して決算額が319百万円少額となっています。
- (注7) 一般管理費については、教育研究の質の向上のための国際交流施設整備の充実を図るため、一般管理費を節減したことに伴い予算額に比して決算額が80百万円少額となっています。
- (注8) 施設整備費については、教育研究の質の向上のための国際交流施設の整備の実施に努めたため、予算額に比して決算額が519百万円多額となっています。
- (注9) 補助金等については、上記(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が207百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、上記(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が121百万円多額となっています。